

特定健診・保健指導の実施に関する ワーキンググループ報告

平成20年12月18日

資料1

ワーキンググループの検討内容

第2回目以降の経過

- 第2回ワーキンググループ開催
日時: 2008年8月7日
- 平成19年度国保ヘルスアップ事業
報告書の収集、整理
(前回未収分について継続的に作業)
- 現地調査の企画、実施
(9ヶ所、ワーキング委員参加)
- 事例集の構成、骨子の検討
- 第3回ワーキンググループ開催
日時: 2008年11月25日
内容: 現地調査結果報告
事例集構成・骨子検討

今後の予定

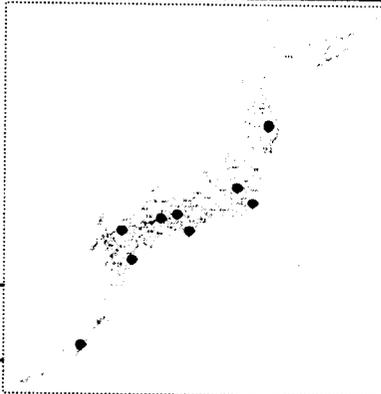
- 事例集の作成
(事例に関する情報収集)
- 次年度ワーキンググループに関する
検討

現地調査の実施

1) 目的

特徴的な取組みを実施している等の事例9件を対象に、事業内容や実施運営上のポイントについて、事業報告書には記載されていない詳細な情報を得ることを目的とする。

2) 調査の実施要領

調査対象	平成19年度ヘルスアップ事業特別加算実施75保険者 (7/11時点回収分47ヶ所)から選定された9カ所 (岩手県軽米町、群馬県太田市、千葉県君津市、 和歌山県御坊市外三ヶ町、兵庫県尼崎市、 岡山県倉敷市、福岡県北九州市、 宮崎県日南市、沖縄県宜野湾市)	
調査時期	平成20年9～10月	
調査方法	ワーキング委員による訪問ヒアリング	
事例選定の視点	<ul style="list-style-type: none">・特徴的な取組みを実施 ポピュレーションアプローチとの連携、社会資源・地区組織の活用、 参加継続への工夫・中断防止、生活習慣の改善とその継続・成果が良好(BMIに着目)・保険者の規模、全国各地にまんべんなく・複数の保険者が協働して実施	

現地調査の実施（参考：現地調査地の概要）

※ 下表は、人口規模の小さい順に記載。

保険者	選定理由、委員推薦理由	人口 (人)	被保険者数 (人)	H19ヘルスアップ事業(積極的支援)									
				実施者数 (人)	終了者数 (人)	参加率 (%)	ポイント	複数プログラム用意	特徴	終了率 (%)	BMI 変化率 (%) 上男、下女		
岩手県 軽米町	地域資源を活用した広報。 地域資源を活用して健康づくりへの意識を高揚。地域密着型の保健指導を展開。	11,192	6,355	22	22	-	180	○	1,4,8,10,1 2,15	100.0	-		
宮崎県 日南市	まちづくり型保健指導。 保健指導を、健康づくりによる"まちづくり"として展開していること、参加者が自主グループ等を作って活動を広げていること等に特徴がある。	43,478	10,725	10	10	70.0	500	-	2,3,4,5,8,9 .10,12,13, 14,15	100.0	-		
和歌山県 御坊市外三ヶ町	広域事務組合理型。 小規模市町が集合した広域事務組合による取組み例。	49,575	23,531	22	21	94.5	440	-	4,5,6,8,10, 12,15	95.5	-4.3% -1.9%		
千葉県 君津市	ポピュレーションアプローチ連携。 病態分析を行い各地域の自治会にて結果説明会を行い、地域ぐるみでの健康意識の高揚を図った。	90,654	36,646	56	44	59.4	310	-	4,8,14,15	78.6	-2.8% -4.2%		
沖縄県 宜野湾市	複数プログラム実施。 通信型を含めた複数プログラムを比較的小規模自治体にて直営で実施。	91,486	38,666	7~ 39	5~ 30	72.5 ~ 100.0	500 ~ 860	○	1,2,3,4,6,8 ,9,11,12,1 5	71.4~ 89.7	0.0~-9.2% -3.5~-4.6%		
群馬県 太田市	人材確保・育成。 不足が見込まれる人材を確保するために、ボランティア育成事業を実施した。	218,815	80,219	104	104	91.3	280	同プログラムで複数コース	4,12,15	100.0	-4.1% -5.1%		
兵庫県 尼崎市	ポピュレーションアプローチ連携。 検診結果等のデータを活用し事業を展開。産業団体、地域企業の協力を得る方法などに特色がある。	461,120	180,135	378	238	63.0	260	-	1,4,6,7,8,1 0,14	63.0	-2.8% -3.9%		
岡山県 倉敷市	複数プログラム実施。 複数プログラムを用意し、委託と直営で機能分担しながら事業を展開。	477,922	157,029	25~ 3	24~ 3	88.0 ~ 60.0	190 ~ 1040	○	コースに より異なる	76.9~ 100.0	-2.7~-8.9% -11.4~-1.1%		
福岡県 北九州市	医師会保健指導実施。 健診実施機関にて保健指導を実施するための体制づくりが参考になる。	990,452	374,111	37	29	78.4	180	-	4,10,12	78.4	-		

- | | | | |
|------------|--------------|-------------|---------------|
| 1 土日・夜間開催 | 2 夫婦・家族参加型 | 3 訪問による参加勧奨 | 4 分かりやすい媒体の工夫 |
| 5 地域人材の活用 | 6 地域施設の活用 | 7 地域組織との連携 | 8 欠席者のフォロー |
| 9 仲間づくりの支援 | 10 医療機関との連携 | 11 市民モニター活用 | 12 参加者満足度調査 |
| 13 職員の教育研修 | 14 治療中者の保健指導 | 15 客観的な習慣評価 | |

事例集の作成(案)

1) 目的

特定健診・特定保健指導の運営上の課題への対応方策を検討する際に参考となる資料を提供することを目的とする。

2) 作成方法

平成19年度ヘルスアップ事業実施保険者を対象としたアンケート調査の結果、および現地調査を実施した9事例の調査結果を活用して、事業内容や実施運営上のポイントをとりまとめる。

3) タイトル(仮)

「国保ヘルスアップ事業を踏まえた 市町村国保における保健指導の事例集」
～ 円滑な特定健診・特定保健指導の実施のために ～

4) 想定読者(配布予定先)

市町村国保の事業担当者および実施者、都道府県、連合会など。

5) 構成および骨子案(別紙ご参考)

本編(課題への対応例を整理)、事例編(9件の現地調査報告)、参考資料(アンケート結果概要など)の3部構成とする。

事例集の作成(案)

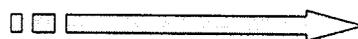
本書の構成と使い方

はじめに

1. 円滑な特定健診・特定保健指導の実施

- (1) 計画づくりと評価
- (2) 健診結果・レセプト分析の活用
- (3) 実施体制の構築
- (4) 人材の確保・育成
- (5) 事業の展開方法
- (6) 受診率、実施率、継続率の向上
- (7) アウトソーシングの展開方法とその課題

2. 事例紹介



○ 事例インデックス

- (1) 岩手県軽米町
- (2) 宮崎県日南市
- (3) 和歌山県御坊市外三ヶ町
- (4) 千葉県君津市
- (5) 沖縄県宜野湾市
- (6) 群馬県太田市
- (7) 兵庫県尼崎市
- (8) 岡山県倉敷市
- (9) 福岡県北九州市

付. 資料編

- (1) 平成19年度国保ヘルスアップ事業の全体像 (第2回検討会 アンケート結果をもとに整理)
- (2) 特別加算実施75保険者一覧

<事例ごとの内容構成>

- 1 選定のポイント
- 2 保険者の概要
- 3 平成20年度特定健診・特定保健指導について
 - (1) 実施計画の概要
 - (2) 実施体制
 - (3) 事業の特徴
 - (4) 課題と今後の展望
- 4 平成19年度ヘルスアップ事業について
 - (1) 事業概要
 - (2) 実施体制
 - (3) 特別加算で実施したこと
 - (4) 受入れ体制構築のポイント
 - (5) 受診率・実施率、継続率向上のポイント
 - (6) 事業の成果
 - (7) 平成20年度特定健診・特定保健指導に向けて

治療中の者に対する保健指導の効果に 関するワーキンググループ報告

平成20年12月18日

資料2

ワーキンググループの検討内容

第3回までの経過

○ 第3回ワーキンググループの開催

日時：平成20年12月18日

○ 保健指導教材集の作成

○ 実施担当者研修会の開催

平成20年8月25日、26、27日：

本事業の実施手順、保健指導方法に関する研修等を行った。

[参加機関]

涌谷町町民医療センター(宮城)

大森病院(秋田)、南砺市民病院(富山)、坂下病院(岐阜)、

甲賀病院(滋賀)、みつぎ総合病院(広島)、三豊総合病院(香川)

国東市民病院(大分)、山香病院(大分)

○ 倫理審査

内容：各実施機関より倫理審査委員会に実施許可申請を行い承認を得た。

○ テストラン実施

日時：平成20年9月から11月

内容：事業説明、保険者等との打合せ、

事業実施体制の確認および保健指導模擬実践

今後の予定

○ 対象者の無作為割付および保健指導の実施(継続実施中)

○ 評価方法に関する検討

○ 継続支援期間における保健指導プロトコルの検討

治療中の者に対する保健指導事業 対象者

対象者の採択要件

年齢 30歳～70歳

国保加入者

服薬治療中の疾患

高血圧・脂質異常・糖尿病

採択検査値

血圧 140/90mmHg以上

(いずれかが該当)

LDLコレステロール

140mg/dl以上

HbA1c 6.5%以上

除外要件

血圧 180/110mmHg以上

LDLコレステロール 220mg/dl以上

HbA1c 8.0%以上

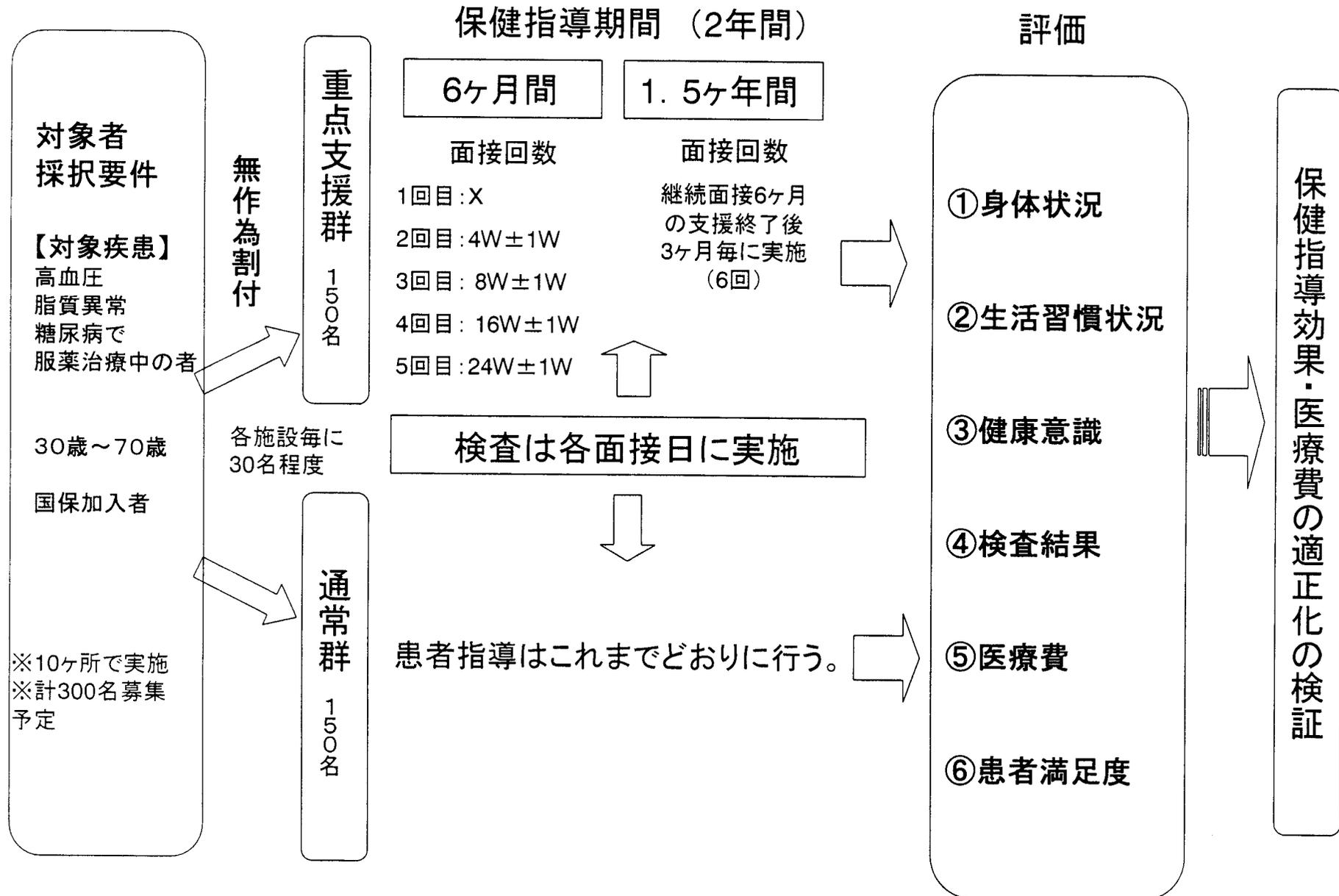
- ・インスリン療法を導入している者
- ・腰痛や膝関節痛が高度で歩行などの基本的な運動指導が困難なもの。
- ・心筋梗塞・脳卒中の既往を持つもの。
- ・合併症等で主治医が不適切と判断したもの。

打ち切り要件

患者が治療中断した場合

主治医が不適切と判断した場合

治療中の者に対する保健指導事業 概要



Ⅱ これまでの経緯

1. 事前準備（実施担当者研修会）

- 実施日時：平成20年8月25日から27日（第2回研修会を平成20年12月5日、6日に開催）
- 対象：事業実施機関における事業実施担当者、事務部門担当者 等
- 会場：砂防会館 別館4階 国民健康保険中央会研修室
- 参加者：

職種	計
医師	9
保健師	14
看護師	7
検査技師	1
管理栄養士	9
栄養士	1
事務	9
合計	50名

注：2回分の研修会参加者数の合計を表している。

日程	時間	内容
8月25日 (1日目)	午後 12:30～ 13:00～ 13:15～14:15 14:15～16:00 16:00～18:00	受付 ・開始(挨拶:趣旨説明) ・治療中の者への保健指導の意義について ・事業概要及び事業の具体的な取組 ・事業の分析評価、評価に係るデータ收受について ・意見交換及び質疑応答
	午前 9:30～12:00	・保健指導に必要な知識Ⅰ 基本的な病態 生活習慣とリスクファクターとの関連 禁煙指導のポイント 栄養の知識・運動の知識
8月26日 (2日目)	午後 13:00～14:50 15:00～17:00	・知識提供のためのロールプレイング 保健指導の基本的な技術 ・保健指導に必要な知識Ⅱ 保健指導の基本的な技術
	午前 9:30～12:00	・栄養アセスメント アセスメント方法の解説 事例検討
8月27日 (3日目)	午後 13:00～15:00 15:00	・総合討論 ・意見交換 ・閉会

2. 倫理審査

○概要

- ・事業実施に先立ち、保健指導プロトコール、院内実施体制等に関する倫理的妥当性を確認するために、倫理審査委員会に対し事業実施申請を行った。

○承認日

- ・8月29日から10月9日の間に9ヶ所の実施機関が承認を得た(1実施機関は現在準備中)

3. テストラン

○目的

- ・倫理審査委員会の承認を受けた後に、院内の実施体制、測定データの集約、送付体制等に関する確認と保健指導模擬実践を目的にテストランを実施した。

○概要

- ・事業説明
- ・倫理委員会承認書類の確認
- ・実施体制の確認・主治医による同意取得のながれ・参加者決定後から保健指導開始までのながれ
- ・診療報酬明細書情報の収集について
- ・帳票、収集データ項目の確認、事務局への提出スケジュールの確認
- ・対象者IDの設定、記録保管方法・血液検査／尿検査のながれ
- ・保健指導の模擬実践（2症例分の模擬保健指導を実施）
- ・中断時の連絡体制・事業費の精算方法
- ・質疑応答 等

○実施日時：9月22日～11月17日に実施（1実施機関は平成21年1月に予定）

4. 対象者の募集および同意の取得

○概要

- ・テストランが完了した実施機関は、対象者の募集と同意の取得を開始した。
- ・1実施機関あたり20名以上40名以内で募集を行っている。
- ・対象者の募集と同意取得は、主治医の指示のもと実施している。

○同意取得に用いた資料等

- ・保健指導事業参加のお願い 事業の内容に関するご説明
(外来患者一般に対し募集のために掲示)
- ・治療中の者に対する保健指導事業 保健指導事業参加のお願い
(対象患者の説明資料として使用)
- ・保健指導の効果に関する事業への参加同意書
(対象患者の同意を確認するために使用)
- ・患者登録用紙

※説明を受けた患者は全てID化して登録する。後日同意取得率を確認することを目的としている。

- ・同意書および主治医の説明実施確認書は、該当箇所に署名の上、事業が終了するまで実施機関内で保管。

5. 今後の予定

		平成20年度						平成21年度						平成22年度																		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
涌谷町町民医療福祉センター	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
市立大森病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
南砺市民病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
国民健康保険坂下病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
公立甲賀病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
公立みつぎ総合病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
三豊総合病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
国民健康保険平戸市民病院	重点支援			事業説明会	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
国東市民病院	重点支援				TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																										
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						
杵築市立山香病院	重点支援			TR	保健指導開始(重点支援期間6ヶ月)																											
	継続支援													①		②		③			④		⑤			⑥						

注1: TR=テストラン実施日

注2: 重点支援期間は6ヶ月間となっている。通常支援期間(フォローアップ)は3ヶ月ごとに1回程度の保健指導等を予定している(○数字は3ヶ月単位の区切れ目を表している)

注3: 国民健康保険平戸市民病院は、事業実施担当者が集まり事業説明会を行った(テストランは1月に実施予定)

Ⅲ 事業評価に関する検討

収集データ項目

検査結果

- 体重・身長・BMI・腹囲
- 血圧(測定2回)
- 血液検査
HbA1c、1.5AG、随時血糖
中性脂肪、総コレステロール、
LDLコレステロール、
HDLコレステロール、
尿酸、血清クレアチニン
- 尿検査
尿中微量アルブミン、Na、K、
尿中クレアチニン

保健指導情報

- 身体状況の変化
- 生活習慣の変化
- 健康に関する意識
の変化

レセプト情報

- 属性(性別・生年月日)
- 保険者番号
- 医療機関名
- 疾病名
- 治療開始時期
- 区分(入院・外来・薬剤)
- 診療月日
- 決定件数、日数、点数

経済評価に用いる指標

- 人材に係る費用
- 教材等に係る費用
- その他に係る費用

診療情報

- 診察時の変更内容
(投薬中断の有無)
- 毎回の処方内容
(投薬量等)

- 患者満足度

事前に把握する情報

- これまでの治療状況・
保健指導の状況
(教育入院等)
- 現在の治療内容
(使用薬剤等)

1. 医療費に関する分析（案）

視点1: 両群間の医療費の推移(重点支援期間、継続支援期間)

・分析方法: 重点支援群, 通常支援群 × 決定点数

視点2: 特掲診療料別の医療費の推移(重点支援期間、継続支援期間)

・分析方法: 重点支援群, 通常支援群 × 再診, 指導, 投薬, 注射, 処置... × 回数、点数、件数

視点3: 投薬量の推移(重点支援期間、継続支援期間)

・分析方法: 重点支援群, 通常支援群 × 薬効コード別投薬量

視点4: 分析属性に関する検討

・考え方: 視点1から3を分析する際に、対象者属性、保健事業内容、実施体制 等を変数として設定し分析を行う。

①対象者属性: 治療中の疾患種類(糖尿病、脂質異常症、高血圧の組み合わせ)、性別、年齢、(ベースライン時の)検査値、治療期間、合併症の有無、BMI

②保健事業内容: 保健指導が実施できた回数、保健指導内容、目標達成状況

③実施体制: 実施職種

視点5: 改善群、非改善群間の医療費の推移

その他

2. 費用対効果に関する分析

○目的

- ・事業実施準備、保健指導実施、評価、資料作成、カンファレンス等に要した費用を把握し、重点支援群、通常支援群別の一人当たりコストを調査する。
- ・また、重点支援群と通常支援群間の医療費(総決定点数)、薬剤費の差を便益とみなし、上記コスト調査結果より得られる費用を差し引いた純便益を推計することを旨とする。

$$\text{NB(純便益)} = \text{B(便益)} - \text{C(費用)}$$

○方法

- ・想定される費目および調査票は以下の通り。

人件費

材料費(教材、材料等、器具類、検査委託費等)

その他経費(会議費、旅費、通信費等)